

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年12月21日

事業者名: 株式会社エネファント

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	太陽光を中心とした再生可能エネルギー導入、省エネ設備による電力使用量削減はもちろんのこと、事業活動における温室効果ガスの排出量削減にも注力している。自社の直接的な排出量(スコープ1)と間接的な排出量(スコープ2)の可視化、可視化した数値を基にしたJ-クレジット活用等を通じて排出量削減を行っている。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑬気候変動に具体的な対策を	令和3年39.61t(Scope1 18.23t/Scope2 21.38t) 参考:売上高1,149百万(0.034t/百万) 令和4年45.06t(Scope1 24.28t/Scope2 24.28t) 参考:売上高1,334百万(0.033t/百万) J-クレジットを購入し温室効果ガスの実質排出量0に向けた取組みを進めている。	指標	温室効果ガスの排出量 社用車のEV比率
				目標	スコープ1: R7年度18.13t-CO2 スコープ2: R7年度21.18t-CO2 2030年までに2021年比46%減を目標(年約6%減)。令和7年まで社用車のEV比率を70%を目指し排出量削減を進めている。
社会	エネファント健康4宣言として健康経営を基軸とした従業員の労働環境の向上と、地域内の他事業社や他団体、行政や学校などとの連携を通じたSDGsの啓蒙活動を行っている。	④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	R4年度よりストレスチェックの実施(全体数値17%)、婦人科検診無償化、社食制度を導入。継続した取り組みとして、毎年会社負担でのインフルエンザワクチン接種、がん検診を実施。 高校へのSDGs授業講師派遣、探求学習・インターンシップの受け入れを実施。(参加人数約90名程度) また、行政主導の防災イベントへの参加を通じてEVを活用した非常用電源の活用方法の啓蒙を行う。	指標	ストレスチェック数値 地元小中高の職場体験等の受け入れ件数
				目標	R7年度までに、ストレス値を10%までに改善。毎年のストレスチェックと同時に、医師による面談など実施 R7年度までに、地元小中高からの職場体験、SDGs授業講師、インターンシップなどの受け入れを10校
経済	地域内の発電所(子会社所有)等で生み出された再生可能エネルギーを購入し、小売電力(たじみ電力)に関する排出係数の削減に取り組み、地域のお客様に向けて電力会社として安定的に安価でクリーンな電力を供給している。 地域のお客様から選ばれる電力会社を目指すことで、エネルギーの地域内循環と地域で生み出された再生可能エネルギーの最大化に取り組んでいる。	⑰パートナーシップで目標を達成しよう、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑯平和と公平をすべての人に	R3年度までは、電源構成の14%が再生可能エネルギーとなっている	指標	小売電源構成の再生可能エネルギー比率
				目標	R7年度までに、小売電力事業の電源構成の再生可能エネルギー比率30%を目指す R12年度までに、再生可能エネルギー比率50%を目指す
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・重点項目について全社会議などを通じて代表より社内共有、進捗報告を実施。 ・経済面については、各事業部において事業の状況把握、進捗や改善点など共有。その後、各部や全社へ展開。 ・環境面、社会面、ガバナンスについては、総務部を中心として、適宜社内研修の企画運営を行い、従業員への進捗報告と理解度向上施策を実施。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				